



こんにちは じょう 城

勝行です



健康福祉委員会 予算委分科会

三月十四日(金)市議会健康福祉委員会及び
予算委員会健康福祉分科会が開催されました。
今期より、わが党委員は私一人になり、市民のみ
なさんのくらしに直結する課題ばかりなので責
任を痛感しています。今回は、国民健康保険問
題や子ども青少年育成条例、お出かけ応援バス
の充実など五項目の質問をしました。

子どもには国保資格証 を適用するな!

国保料長期滞納世帯に「資格証」と称した無資格証を発行している世帯が現在五千世帯にもなっています。病気になるっても治療が受けられない人が一万人以上いることになり子どもも含まれています。乳幼児医療費助成制度があっても受診できません。子どもの病気が急変することが多々あり命に関わる重大問題です。保険料滞納の責任の無い子どもには資格証を適用しないよう強く求めました。

保険料の大幅な引き下げを!

国保料の収納率低下の要因は保険料が高すぎることにあります。平成十四年度に大幅な引き上げをして以降収納率が下がっているのを見れば明白です。この度、市民の声と運動もあり保険料が引き下げられることになりました。しかし、一人当たり年間千七百円程度で、一万円以上



の引き下げが可能だとして大幅引き下げを求めました。保険料算定の際に九十%の収納率で割り戻して、十%上乗せしているのをやめれば一人一万円の引き下げができます。更に今回の改訂で大幅に見込んである医療費の伸びを少し低く見積もれば更に引き下げが可能です。

子どもの権利を重視しない条例に反対!

今議会に「子ども青少年育成条例案」が提出され賛成多数で可決しました。これは、社会経済情勢の変化が子ども青少年の育成に大きく影響しているとして、全国的に虐待、いじめ、不登校及び非行をはじめ、子ども青少年に関する様々な課題が山



積している中で、社会全体で育成に取り組むとの趣旨で提案されたものです。趣旨はその通りだと思えます。しかし、中身を見れば、「子どもの権利」と言う文字がないこと、「責務」の項で「子ども青少年の心がけ」「保護者の責務」から始まっていることに驚きました。不登校や非行、虐待などの問題は、心がけや責務で解決するものではありません。必要なのは、悩み苦しんでいる子どもと親を社会がどう支援するかです。また、肝心の「市の責務」についてはあいまいになっていること。そうした理由でわが党はこの条例に反対しました。策定すべきは「子どもの権利条例」だと考えます。

緑ヶ丘母子ホームの安易な民営化はダメ!

堺市立緑ヶ丘母子ホーム(堺区緑ヶ丘)が老朽化していることやDVなど新たな対応が求められている中で、この度、二年間休止して現地で建て替えることになりました。しかし、現在の母子ホームを廃止して、民間法人による建設運営の方針であることから反対しました。全国的には公設公営・公設民営が六割で民設民営

は四割になっています。民営化について何が何でもダメとの考え方はありません。しかし、四十年近く市立の施設として運営してきた実績や蓄積されたノウハウをどう活かすかなど検証していないことや民間法人の実情などあまり調査されていないことが質問で明らかになりました。このような先に民営化ありきで進めることには反対です。

「お出かけ応援バス」をいつでも利用できるよう充実を!

わが党が要求してきた「南海バス高齢者無料乗車証交付」が長年の運動の中で「お出かけ応援バス」として実現しました。当初、月三回だったのが六回に充実されました。しかし、利用する日が決められており、病院への通院などに利用できないなどの声が寄せられており、いつでも利用できるよう改善を求めました。これを実施しても、誰もが毎日利用するわけではなく、現在の月六回を下回ると思います。ですから費用が何倍もかかるわけではありません。



長寿を喜べない高齢者を差別する 後期高齢者医療制度は中止を！

この制度実施でいった
いどうなるの？

四月から①七十五歳以上と六十五歳以上で障害認定を受けている人は、加入している医療保険からはずされ後期高齢者医療制度に強制加入。②全員から保険料徴収。年金月額一万五千元以上の人は年金から天引き、それ以外の人は窓口納付となり、払えなければ保険証取り上げ。

世界に例の無い
とんでもない制度！

この制度は、七十五歳になったら「なるべく入院させない」「入院したら出来るだけ早く退院させる」「薬は出来るだけ少なくする」「病名によって一ヶ月の医療費を決めそれ以上必要でも出さない」「死ぬときは出来るだけ自宅で」「生きていうちに死に方を決めておく」・・・こんなことを押し付ける内容になっていきます。同じ人間を前期高齢者、後期高齢者だと勝手に分けて人を差別する制度は世界中何処もありません。こんなひどい中止しかありません。

だから自民党からも
反対の声が……

地方議会の「中止、見直しを求める意見書」が五百自治体を超え全自治体の三割近くになっています。岐阜県大垣市では、自民党が提案して公明党だけが反対で採択されました。あまりにひどい制度だから市民を目的にしたら自民党でもこの制度に反対せざるをえない実情を表しているでしょう。

キンモクセイの香りとともに寂しげな秋を迎え、厳しい冬を乗り越えて、甘い香りが漂ってきたら何故かうキウキします。今年も沈



沈丁花

丁花（じんちょうげ）の香りとともに春を予感させてくれました。原産地は中国、日本には室町時代に渡来したそうです。花言葉は「優しさ」「おとなしさ」「榮光」など色々ありますがあまりピンときません。花の香り

は流行歌と同様に時々の出来事と共存していて色んな想い出がよみがえってきます。前に進むだけでなく振り返ることも大事だと思いません。前に進めなくなるときも・・・ちよつと暗い話になりました。沈丁花が咲くとまもなく満開の桜です。

3・16線北ニュータが平和パレード

憲法九条を守ろ！

三月二十日イラク戦争開始五年を前にした三月十六日（日）午前、泉ヶ丘地区で「泉北ニュータウン平和パレード」が行われました。「泉北平和ネット」や「新日本婦人の会」「いずみ市民生協」「地域九条の会」など十一団体で構成する同実行委員会が主催したもので百五十人が参加しました。奥村前府議、源中市議とともに参加しました。泉ヶ丘駅噴水前での集会で、「アメリカはなだちに戦争を止めること」「日本はアフガン、イラクでのアメリカの戦争支援をきつぱり中止すること」「沖縄での米兵による少女暴行事件と自衛隊のイージス艦による漁船衝突事件に対する政府の対応に厳しく抗議する」との集会宣言を採択し、その後、元氣よく行進しました。



その後、元氣よく行進しました。原山台・庭代台・赤坂台・新松尾台・城山台など各地で九条を守るの一点で共同しようとして「地域九条の会」が幅広く草の根の活動を繰り広げています。

